

事業用自動車事故調査報告書 概要 ～貸切バスの追突事故(静岡県富士市)～

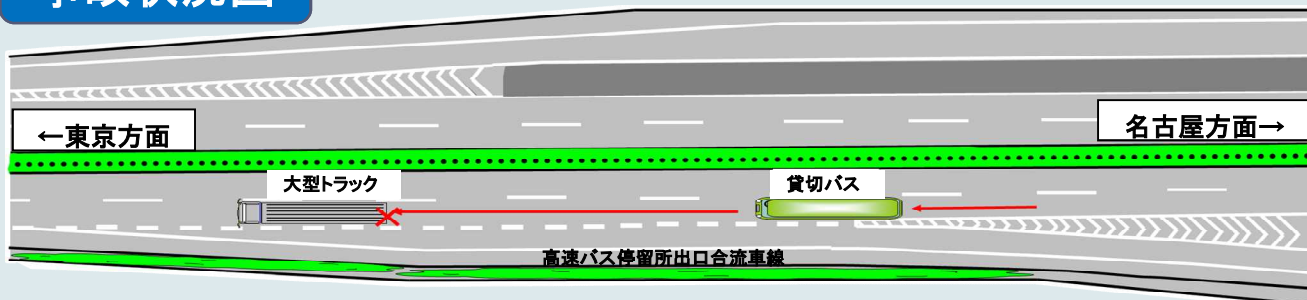
事故概要

平成26年8月25日、貸切バスが乗客29名を乗せて走行中、大型トラックに追突した。この事故により、貸切バスの運転者と交替運転者が重傷を負い、乗客24名及び相手車両の運転者1名が軽傷を負った。なお、貸切バスの運転者は、事故発生24時間以上経過後に死亡した。



貸切バスの損傷状況

事故状況図



原因

貸切バスの運転者が運転中に**注意力が低下した状態**に陥ったことにより、前方を**低速で走行する相手車両**に気付くのが遅れ、追突に至ったものと考えられる。

装着されていた**衝突防止補助（警報）装置の作動が停止**していたことから、運転者に対する衝突警報が行われず衝突回避の遅れにつながった可能性があると考えられる。

再発防止策

- ★事業者は、運転者に対し、**注意力が低下した状態で運転を継続することの危険性**を理解させるとともに、**シートベルトの装着**を徹底するよう教育する。
- ★事業者は、運転者に対し、**疲労や眠気**を感じたときは、**速やかに運転を中断**し、その旨を運行管理者に報告して指示を受けるよう指導する。
- ★事業者は、運転者に対し、衝突防止補助（警報）装置が正常に作動していることを確認し、故障等により作動しない場合にはより安全運転に努めるよう教育する。